



変えられる? 変えられない?

キリスト教センター長 ミカエル 藤倉哲哉

ニーバーの祈り ラインホルド・ニーバー*(大木英夫 訳)

神よ、変えることのできるものについて、
それを変えるだけの勇気をわれらに与えたまえ。
変えることのできないものについては、
それを受け入れるだけの冷静さを与えたまえ。
そして、変えることのできるものと、
変えることのできないものとの、識別する知恵を与えたまえ。

Serenity Prayer Reinhold Niebuhr*

God, give me grace to accept with serenity
the things that cannot be changed,
Courage to change the things which should be changed,
and the wisdom to distinguish the one from the other.

これは有名な「ニーバーの祈り」"Serenity Prayer"です。原題は"Serenity Prayer"なので日本語では「平穩の祈り」とでもなるのでしょうか。私たちの周りには大きなことでも小さなことでも「変えることのできるもの」があります。しかし、人は豊かになったり成功したりすると、どうしても保守的になりがちで改善や挑戦することがよいと分かっているにもかかわらず、失うことを恐れたり努力することを避けたりして、変化することをためらいます。従って、何ごとでも変えるため、私たちが変わるためにはそれなりの勇気が必要です。

ここで「変えることのできないものを受け入れる」というのは「大きなものや力のあるものには仕方ないからおとなしく黙って従う」ということではありません。日本語訳では"Serenity"を「冷静さ」としていますが、辞書によると「平静」「平穩」ともあることから、「騒がずに」「落ち着いて」というだけでなく「穏やかに安らぎをもって受入れる」という肯定的で積極的な意味が読み取れます。

「変えることのできないもの」とは、愛や正義、平和をはじめ私たちが容易に変えることはできない、あるいは変えてはならない普遍的な価値や存在のことを意味していると考えられます。広く社会には発展や勝利があれば、残念ながら戦争や貧困もあり、私たちの身の回りには嬉しいことも悲しいこともあります。あちこちに掲げられている大義や理想をみても、正しいもの、間違っているとされるもの、場合によってはどちらかわからないことなど、時代や国、民族や宗教によってそれぞれ異なることを忘れてはなりません。

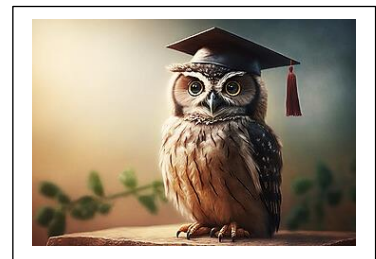
「国家の繁栄」「わが社の存続」「仲間の輪」「家族の絆」などは、いずれもその通りで間違いではないのですが、これを振りかざして「国境の向こうに目を向けない」「社会や従業員への配慮がない」「同調しない者を排除する」「ひとつの価値を強要する」ことは間違いです。誰もが反対できない素晴らしいことを目的に掲げても、そのための過程における手段や方法が誰かを傷つけたり、誰かの大切なものを奪ったりすることは赦されません。だからこそ、単なる知識ではなく「識別する知恵」が必要なのです。

さて、この祈りは「一日一日を生き、この時をつねに喜びをもって受け入れ、困難は平穩への道として受け入れさせてください。…」と続きます。 *-Reinhold Niebuhr- (アメリカの神学者)

一口メモ 「知識と知恵」

辞書によると「知識」とは認識・理解、その内容を指し、学習などによって増やすことができます。これに対して「知恵」とは、物事の道理を判断し筋道に沿って計画し処理する能力を言い、学習するだけで身につくとは限りません。

学びによって得た知識を統合し組立て、日常の社会での経験や努力を通して身につくのが「知恵」で、これを得るには人とのコミュニケーションや目標の達成に向けた情熱が不可欠です。



終結を見ないまま侵攻から1年を過ぎようとしています。

また、その他の地域にも紛争で苦しむ人びとが多くいることを忘れずに祈りましょう。

ウクライナのための祈り

正義と平和の神よ、

わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。

またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。

明日を恐れるすべての人々に、

あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。

平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。

そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な

子どもたちを、あなたが抱き守ってくださいますように。

平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン。

ジャスティン・ウェルビー大主教

スティーブン・コットレル大主教



A Prayer for Ukraine

God of peace and justice,
we pray for the people of Ukraine today.
We pray for peace and the laying down of weapons.
We pray for all those who fear for tomorrow,
that your Spirit of comfort would draw near to them.
We pray for those with power over war or peace,
for wisdom, discernment and compassion to guide their decisions.
Above all, we pray for all your precious children, at risk and in fear,
that you would hold and protect them.
We pray in the name of Jesus, the Prince of Peace.
Amen.

Archbishop Justin Welby
Archbishop Stephen Cottrell



ウクライナのための祈り (カード) 日本聖公会東京教区のページへ

